

容器内のレポーター（林祐貴助教）と会場司会（矢治健太郎URA職員）による軽快なやりとりで、現場の臨場感を東京に届けるプログラムでした。特に、真空容器内を一周するのにかかる時間を当てるクイズの回答として、実際にレポーターが一周して見せたのは、ライブ中継ならではの醍醐味がありました。ちなみに32秒かかりました。会場にいるレポーターが会場からの質問にも率直に答えることで、核融合研究者に親しみが持てる時間となりました。講演会最後のプログラムとして伊藤篤史准教授が「はじめての核融合」と題して、親子向けトークイベントを行いました。オリジナルのプラズマ核融合を説明するアニメに合わせて、歌をお子さんと一緒に歌うなど楽しく理解できるよう工夫されていました。

核融合研究に関連した最先端の科学技術を実感・体験していただくために、科学体験教室や科学工作教室が行われました。科学体験教室では、真空実験、大気圧プラズマ、磁気浮上列車、君の声を見てみよう、アトムの光、3次元映像で見る核融合プラズマ、プラズマボール、高速カメラなどを行いました(写真2)。また、科学工作教室では、

来場者の方々がご自分で作られたLHD型分光器で様々な光源を見て、その場で分光スペクトルを観測する体験をしました。形状記憶合金を使った工作教室も子ども達に人気でした。また、東海大学付属高輪台高校、東京都立科学技術高校、東京都立戸山高校の生徒による科学工作を含む数々の企画展示も大変好評でした。展示では、研究所のビデオ紹介に加え、最新の研究成果をパネルで紹介しました。また、総研大核融合科学専攻の紹介と大学院入試個別相談会も行いました。さらに今回から量子科学技術研究開発機構那珂核融合研究所からも出展があり、Fusionフェスタが全国レベルの核融合関連イベントとして広がりを持つてきました。来場者からは、「実験や工作が面白かった」、「子どもも楽しめた」、「中継は臨場感があった」、「初めて核融合のことを知りました」、「未来のエネルギーとして期待しています」などの感想をいただき、多くの皆様に核融合研究に親しむを持っていただけたと思います。

（装置工学・応用物理研究系 教授/  
Fusionフェスタ in Tokyo 実行委員長、  
高密度プラズマ物理研究系 助教）



写真1 新企画「ここが1億2000万度の現場だ！ープラズマ容器からライブ中継ー」LHD真空容器内とのライブ中継の様子



写真2 巨大プラズマボールの展示

## TOPICS

トピックス

### 第8回自然科学研究機構若手研究者賞を受賞

本研究所核融合システム研究系の時谷政行准教授が、「超高温プラズマに負けない金属壁をつくる」によって、第8回自然科学研究機構若手研究者賞を受賞しました。

この賞は、自然科学研究機構が、新しい自然科学分野の創成に熱心に取り組み、成果をあげた優秀な若手研究者を対象として授与しているものです。

時谷政行准教授は、核融合炉実現の鍵を握る超高温プラズマ対向機器の研究において、タングステンと銅合金を強靱に接合させる「先進的ろう付接合法」を独自のアイデアで開発し、高性能な機器製造技術を確立さ

せました。この研究成果が評価されて今回の受賞となりました。

なお、授賞式と受賞記念講演が、7月7日（日）に、日本科学未来館・未来館ホール（東京）にて行われ、時谷准教授は「超高温プラズマに負けない金属壁をつくる」と題した記念講演を行いました。また、講演終了後には、同館コンファレンスルーム木星にて、本研究で開発した実物の機器等を展示したブースを設け、受賞者と来場者とが直接語り合う「ミート・ザ・レクチャラズ」が開催されました。時谷准教授も講演に招待された多くの高校生らの質問に答えるなど、交流を深めました。これら一連のイベントには、一般の方々からも多数の参加がありました。



受賞者の記念写真（時谷准教授は前列左から2人目）

## 核融合科学研究所オープンキャンパス2019（一般公開）のご案内

核融合科学研究所は、9月7日（土）9：30～16：00に、オープンキャンパス2019（一般公開）を開催します。今年は、「体感！体感！プラズマエネルギー」をテーマに、様々なイベントを予定しています。皆様のご来場をお待ちしております。

内 容	●公開講座 第1部：子どもと学ぶエネルギー～風車から核融合まで～ （土屋 隼人 助教） 第2部：知っているようで知らない太陽のこと （村上 泉 教授）	●放射線を見てみよう	●第18回少年サッカー 同時開催
	●工作にチャレンジしてみよう （光追っかけロボット・セラミック折り紙・LHD型分光器ほか）	●核融合研の技術で拓く未来	
	●バーチャルの世界で装置の中を体験しよう	●核融合研究者への道 （総合研究大学院大学・連携大学院の紹介）	
	●ペットボトルロケットを飛ばそう	●高校生の科学研究室をのぞいてみよう など	

○入場は無料・事前申込不要です。当日は、JR多治見駅及び土岐市駅（東濃鉄道下石バス停経由）から無料シャトルバスを運行します。詳細は研究所ホームページを御覧ください。



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS

No.248

2019年6,7月号

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6  
TEL : 0572-58-2222(代) FAX : 0572-58-2601  
URL : <http://www.nifs.ac.jp/>  
E-mail : [nifs-news@nifs.ac.jp](mailto:nifs-news@nifs.ac.jp)

※過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

複写される  
方へ

本紙に掲載された著作物を複写したい方は(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F  
TEL:03-3475-5618 FAX:03-3475-5619 E-mail:info@jaacc.jp 著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究へご連絡ください。